

事業番号	101
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	快適で清潔なまちづくり推進事業					担当部	市民生活部			
	会計区分	一般会計		事業類型	一般	担当課	廃棄物対策課				
	事業期間	平成20年度		～	平成30年度以降		担当係	環境美化係			
	総合計画 分野別計画	主目的	1 安全・環境	5 ごみ対策	3	地域の環境美化活動を推進します					
		副目的									
	予算区分	款	2	項	8	目	1	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市快適で清潔なまちづくり条例									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	「快適で清潔なまち小牧」の実現を目指し、市・市民等及び事業者が、それぞれの役割の下、地域環境の保全及び美化の促進を図る。									
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容 ごみ散乱防止のための啓発や清掃活動、市民総ぐるみの地域美化活動を「小牧市快適で清潔なまちづくり協議会」とともに事業を実施した。また、啓発用の看板の配布や不法投棄多発地域へのソーラー回転灯設置、環境美化パトロール員を2班4名配置し、軽トラックでのパトロールを実施した。ペットの糞害対策として、ペット用携帯トイレ1万セットを飼い主へ配布し、また、2団体がイエローカード作戦を実施した。</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 啓発用資材の配付、クリーンアップやパトロール活動の経費など 需用費(2,461千円)うち、啓発用ペット携帯トイレ 10,000セット (378千円) 役務費(83千円) 委託料(42千円) 備品購入費 不法投棄禁止ソーラー式回転灯 3台 (210千円) *その他財源(105千円) 不法投棄未然防止事業協力助成金〔家電製品協会〕 補助率1/2 【25年度その他職員人件費】 パトロール員4人・事務員1人 社会保険料(1,112千円)、賃金(7,124千円)</p> <p>○26年度実施内容 不法投棄防止啓発用として、監視カメラを8台購入する。 また、協働提案事業化制度で、イエローカード作戦を「米野さわやか会」へ委託する。</p> <p>◆26年度直接経費の内訳 啓発用資材の配付、クリーンアップやパトロール活動の経費など 需用費(3,137千円) 役務費(219千円) 委託料 協働提案事業化制度でのイエローカード作戦(23千円) 備品購入費 不法投棄監視カメラ 8台 (4,300千円) *その他財源(2,150千円) 不法投棄未然防止事業協力助成金〔家電製品協会〕 補助率1/2 【26年度その他職員人件費】 パトロール員4人分・事務員1人 社会保険料(1,329千円)、賃金(8,285千円)</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	1,993	2,501	2,797	7,679	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.20
			人件費	千円	1,052	1,052	1,052	1,052
		その他職員	従事者数	人	4.00	4.00	5.00	5.00
			人件費	千円	6,932	7,237	8,236	9,614
	費用合計	千円	9,977	10,790	12,085	18,345		
対前年比	%			108.1	112.0	151.7		
財源	一般財源	千円	2,438	10,759	11,980	16,195		
	国・県支出金	千円	7,472	0	0	0		
	その他財源	千円	67	31	105	2,150		

業 績	活動指標名		単位	H23	H24	H25	H26
	クリーンアップ事業実施回数	回	目標	1,900	1,900	1,900	2,000
			実績	1,645	1,866	1,901	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H23	H24	H25	H26
	クリーンアップ事業年間参加者数	人	目標	55,000	69,000	71,000	78,000
			実績	68,681	69,936	77,221	
パトロール員によるゴミ回収量	kg	目標	35,000	35,000	35,000	35,000	
		実績	33,660	33,630	39,110		

事業の自己評価	平成25年度の実施結果		事業の達成状況	
	事業実施における課題		ごみ散乱防止の啓発や地域清掃活動、環境美化パトロール員によるパトロールを実施しているが、不法投棄されたごみは後を絶たない状態が続いている。また、ペットの糞害については、イエローカード作戦の実施地域では効果があったため減少傾向であるが、問題の地域は依然として存在している。	
	事業を縮小・廃止したときの影響		事業を縮小や廃止すれば、益々不法投棄ごみやペット糞害が増えることになり市内の環境美化を図ることができない。	
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	不法投棄防止啓発用として、不法投棄監視カメラ8台購入し、不法投棄多発地に設置する。 また、ペット糞害防止対策として、イエローカード作戦を継続した。なお、啓発品の配付については、ペット用携帯トイレの配付をしていたが、市内飼い主に行き渡り啓発の役割を終えたと判断し廃止とした。	
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	ごみ散乱防止の啓発や地域美化活動、環境美化パトロールの実施により、市内の環境美化に努めているが、不法投棄は後を絶たない状態が続いているため、事業を継続する必要があると判断する。		
	27年度以降の改善案	パトロールは、不法投棄の多い地域、場所を中心に巡回し作業効率を高めるとともに、不法投棄抑制のための啓発活動を強化し、市民を中心とした清掃活動を活性化させる。併せて、イエローカード作戦の実施団体を増やし、清掃活動とあわせて環境美化を図る。 また、啓発品配付も含め事業効果を測定し、効果が期待できる事業の絞り込みを進める。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。